

## 第2章 実践

### 1 モデル校の紹介

#### 【裾野市】



裾野市は静岡県の東部、富士山のふもとに広がり、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山と豊かな自然に囲まれた工業のまちである。

人口は 51,347 人（令和 2 年 4 月 1 日現在）、面積は 138.12 平方キロメートル。気候は温暖で、交通の便も良く、豊かな自然と産業が調和している。

また、裾野市は『健康文化都市』を宣言し、誰もが健康で、人と自然のふれあいを大切にして、豊かな裾野の文化を作り続けることを目指している。



#### 【裾野市立東小学校】

裾野市の中心市街地に位置し、1908 年（明治 41 年）の開校から今年度で 112 年となる。以前は、水田中心の農家が大部分であったが、工場誘致以



来、住宅・団地が急増し、田園・文化・産業都市へと

発展する裾野市の教育と文化の拠点校としての役割を果たしている。

広域農道の周辺は、なお発展を続けているが、校区に住宅地の造成の余地は少なく、児童数は漸減している。



#### 【裾野市立富岡第一小学校】

裾野市の北部、市街地から少し離れた場所に位置し、1873 年（明治 6 年）の開校から今年度で 147 年の歴史を持つ、伝統ある小学校である。自然豊かな地域である一方、日本を代表する企業が存在し、工業地域の一面も併せ持っている。

学校を支援する「富っ子スクール」の様々な取組を通じて、地域の方との交流を大切にしており、地域に開かれた学校づくりや地域で子供を育て見守る活動を推進している。



## 2 モデル校における取組【裾野市立東小学校】

### 令和2年度 食に関する指導の全体計画

<p><b>食に関する児童の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食への興味や関心がみられる。</li> <li>・残食は少ないが、個人差が大きい。</li> <li>・朝食欠食者は少ないが、栄養バランスのとれた朝食をとっている子どもは少ない。</li> <li>・肥満児童がみられる。</li> <li>・痩身児童が増加している。</li> </ul>	<p>◎学校教育目標</p> <p>自ら学ぶ感性豊かな子</p> <p>◎重点目標</p> <p>かかわりあう子</p> <p>◎願う子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の大切さに気づき、感謝して食べる。</li> <li>・自分の健康を考え、何でも食べる。</li> <li>・マナーを身につけ、楽しく食べる。</li> </ul>	<p><b>食に関する指導の目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。(食事の重要性)</li> <li>・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。(心身の健康)</li> <li>・正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。(食品を選択する能力)</li> <li>・食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々への感謝の心を育む。(感謝の心)</li> <li>・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。(社会性)</li> <li>・各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。(食文化)</li> </ul>
---	--	--

幼稚園・保育園	各学年の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標			中学校
	低学年	中学年	高学年	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物に興味関心をもち、食品の名前がわかるようにする</li> <li>・みんなと楽しく食べることができるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物を働きによって、3つのグループに分けられることができるようにする</li> <li>・好き嫌いなく食べることができるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の食事に関心をもち、バランスのとれた食事の大切さがわかるようにする</li> <li>・食事を通して豊かな心と好ましい人間関係を育てるようにする</li> </ul>	

毎月19日は食育の日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	1学期			2学期				3学期				
	給食の約束 食べ物の栄養			食べ物の栄養 食べ物への関心				食生活のマナー				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手な配膳をしよう</li> <li>・上手な後片づけをしよう</li> <li>・よくかんで食べよう</li> <li>・食品の3つのグループを知ろう</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の栄養を知ろう</li> <li>・季節の食べ物を知ろう</li> <li>・食べ物を大切にしよう</li> <li>・何でも食べよう</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝して食べよう</li> <li>・食事のマナーを覚えよう</li> <li>・楽しい雰囲気ですべよう</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士教室訪問</li> <li>・地場産物、旬の食材を活用した献立の日常化</li> <li>・毎月19～23日「ふるさと給食の日」実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番の衛生チェック</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・もぐもぐにつき(献立メモ)</li> <li>・行事食、郷土食、世界の料理を取り入れる</li> </ul>				
給食行事			ふるさと給食週間							学校給食週間		
児童会行事	1迎会								いずみのつどい		6送会	
学校行事	入学式	運動会							マラソン大会			卒業式

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
教科との関連	国語	おおきなかぶ⑦ まめ⑫	食べるのは、どこ⑨	食べ物のひみつをさぐる⑤ ミラクルミルク⑤	手で食べるはして食べる⑥	注文の多い料理店⑦		
	社会			わたしたちのまちみんなのまち④～⑥ はたらく人とわたしたちのくらし⑥～⑪	わたしたちの県④～⑤ 郷土の発展につくす⑩～⑫	私たちの生活と食料生産⑥～⑨	日本の歴史⑥～②	
	理科			植物の育ち方④⑥⑦⑨	季節と生物④⑤⑦⑨⑪ わたしたちのからだと運動⑩～⑪	植物の発芽と成長⑤⑥ 実や種子のつき方⑨	植物の成長と日光の関わり⑤ 体のつくりとはたらき⑤～⑥ 植物の成長と水の関わり⑦	
	生活家庭	がっこうたんけんにいこう④⑤	やさいをそだてよう④～⑨				クッキングはじめの一步④ 食べて元気に⑩～⑫	できることをふやしてクッキング⑤ こんだてを工夫して⑪～⑫
	体育			健康な生活⑥	体の発育と健康⑥			病気の予防⑤②
道徳		いただきます⑫	キウイフルーツのたのしみ⑨ おばあちゃんのおせち⑫	みそしると自転車③	ごちそうの向こうに④		米百俵⑪	
総合的な学習の時間			大好き裾野(2)①②	静岡茶⑤～②		米作り④～⑪		
家庭・地域との連携	・地産地消給食 ・献立表	・給食だより	・家庭教育学級(試食会)	・学校ホームページでの給食紹介				
個別的な相談指導	・学校生活管理指導表に基づくアレルギー相談(養護教諭との連携) ・健康教室							

○取組一覧

【裾野市立東小学校】

時期	対象	時間	【活動名】 活動内容	指導者等	栄養教諭 の関わり	連携		事例紹介 備考
通年	全校	給食の時間	【静岡茶を活用した学校給食の実施】 静岡茶が身近なものになることを目的に、静岡茶を使った献立を提供し、給食時間の放送や献立表および給食だより等で紹介する。	栄養教諭	有	○	○	取組一両校1
通年	全校児童 保護者	—	【食育だより等の活用】 食育だよりや給食放送などを使って、食事バランスや朝食摂取、食事マナーについて考え、実践しようとする意欲をもつ。	栄養教諭	有	○		参考資料
通年	全校児童 保護者	—	【学校ホームページの活用】 お茶レシピや朝食レシピ等を紹介する。また、各学年で実施した食育についても、随時紹介する。	栄養教諭 教頭	有	○	○	
6月 ～3月	4年生	総合的な 学習の時間	【スマイルで茶チャCHA】 お茶の歴史・文化、種類、効能、淹れ方、茶摘み、茶のつく言葉、生産量、消費量などについて調べ学習を行い、まとめて発表する。	担任	無			
7月 12月	全校児童	給食の時間	【朝食指導】 給食の時間の放送やおたより等で、朝食について指導する。	栄養教諭 担任	有			取組一両校3
7月	全校児童	—	【食育だよりの配布】 夏休み前に、朝食の重要性についての食育だよりを発行して啓発する。	栄養教諭	有			参考資料
7月	4年生	総合的な 学習の時間	【おいしいお茶の淹れ方教室】 簡単においしくお茶を淹れる方法を知り、お茶のおいしさを味わう。（保護者参加）	担任 栄養教諭 家庭教育学級生	有	○	○	取組一東1
10月	全校	—	【静岡茶の愛飲・静岡茶を味わおう】 全児童に静岡県産茶葉を配布し、家庭で静岡茶を楽しむ機会を提供することで愛飲促進を図る。	担任 栄養教諭	有	○	○	取組一両校2
10月 15日	4年生	総合的な 学習の時間	【茶摘み体験】 茶摘み体験施設で、茶摘みを体験する。お茶の葉がどのように成長して収穫されるかを確認する。（保護者4名参加）	茶摘み体験施設職員、担任 栄養教諭	有	○		取組一東2
10月	5・6年生	—	【第Ⅰ期朝食調査】 「食育啓発リーフレット」（県教委発行）による朝食調査。	担任	有	○		取組一両校3
10月	5・6年生	給食の時間	【給食指導（朝食について）】 第Ⅰ期朝食調査の実施後に、朝食の大切さについて指導する。	担任 栄養教諭	有			取組一両校3
10月	4年生	総合的な 学習の時間	【手揉み茶体験】 収穫されたお茶の葉がどのように加工されていくのかを体験する。	裾野市手揉み 保存会、担任	有		○	中止
10月 30日	家庭教育 学級	—	【製茶工場見学】 市内の製茶工場に行き、お茶の加工について理解を深める。	製茶工場職員	無	○	○	取組一東6
11月 19日	家庭教育 学級	—	【お茶講座】 様々なお茶の種類や効能等について、試飲をしながら学び、お茶について興味・関心を持ち、理解を深める。	日本茶インス トラクター	無	○	○	取組一東7
11月 27日	4年生	総合的な 学習の時間	【茶道体験】 日本の文化である茶道を体験することにより、作法の意味を知り、どうしてこのような文化が広まったのかを考える。	茶道講師	有		○	取組一東3
11月	5年生	家庭科	【おいしいお茶を淹れよう！】 自分でわかしたお湯でお茶を淹れる活動を通して、おいしいお茶を淹れるポイントを知る。	担任 栄養教諭	有		○	取組一東4
11月	5年生	家庭科	【調理実習 ごはんとみそ汁を作ろう】 自分たちで炊いたごはん、調理したみそ汁とともに、お茶のふりかけや茶飯を味わう。	担任 栄養教諭 家庭教育学級生	有			中止 〔みそ汁 ふりかけ〕
12月 7日	6年生	総合的な 学習の時間	【静岡茶講座】 日本茶インストラクターの方に、お茶について教えていただく。キャリア教育の一環として、仕事についてもお話していただく。	日本茶インス トラクター 担任	有		○	取組一東5
12月	5年生	家庭科	【朝食指導、第Ⅱ期朝食調査】 食育啓発リーフレット 食べものの栄養について学習し、朝食も栄養バランスが大切なことを知る。授業後に第Ⅱ期調査	担任 栄養教諭	有	○		取組一両校3
12月	6年生	家庭科	【朝食指導、第Ⅱ期朝食調査】 食育啓発リーフレット 献立作成について学習し、朝食も栄養バランスが大切なことを知る。授業後に第Ⅱ期調査	担任 栄養教諭	有	○		取組一両校3
12月 15日	6年生 保護者 教職員	—	【食育講演会】 講師を招いて、食べることの大切さや朝食について講演していただく。（午前：6年生、午後：PTAに対する講演）	講師	無	○		取組一両校4
12月 23日	家庭教育 学級	—	【お茶を食べ茶おう】 茶葉を使った簡単なお菓子作りを通して、飲用以外のお茶の楽しみ方を知る。	栄養教諭	有	○	○	取組一東8
1月	全校	—	【静岡茶の愛飲・学校で静岡茶を飲もう】 粉末のスティック茶を配付し、家庭で水筒に入れて学校に持参し、休み時間に飲んだり、お茶うがいをしたりする。	担任 養護教諭 栄養教諭	有		○	取組一両校2



## ●取組一東 1

### 【おいしいお茶の淹れ方教室】(4年生・総合的な学習の時間)

食文化

ねらい：静岡茶を簡単においしく淹れる方法を知り、味わう。家庭で実践する。  
家庭・地域との連携：保護者による実習の支援。HP で紹介。

総合的な学習の時間に、お茶について調べ学習をした児童に対して、実際にお茶を淹れて飲む体験をした。おいしいお茶の淹れ方について、栄養教諭が説明した後、班ごとに実習を行った。浅蒸し茶、深蒸し茶を淹れて、色や味、かおりの違いを感じることができるようにした。



#### 【児童の感想】

- ・お茶は淹れ方によって違うのだと分かった。自分で淹れて自分で飲む、とてもいい経験だった。家でもお茶を淹れて家族で飲みたいです。
- ・お茶の正しい淹れ方は知らなかったです。家でも急須があるからやってみみたいです。
- ・茶葉が、浅蒸し茶も深蒸し茶も同じような色でした。だけど、お茶を淹れてみると色や味が全然違ったのでびっくりしました。

2種類のお茶を淹れたので、違いを感じながら味わうことができた。急須でお茶を淹れた経験がない子が多かったので、初めて急須に触れ、家庭でも実践しようという意欲を持つことができた。保護者の支援があり、安全に実習することができた。

## ●取組一東 2

### 【茶摘み体験】(4年生・総合的な学習の時間)

食文化  
感謝の心

ねらい：普段飲んでいる緑茶がどのように栽培されているのか茶摘み体験を通して知る。  
家庭・地域との連携：摘んだ茶葉を持ち帰り、家庭で天ぷらなどにして味わう。HP で紹介。  
家庭教育学級の保護者が一緒に参加、支援する。

7月に学習した「おいしいお茶の淹れ方」で使用したお茶の葉が、どのように成長して収穫されるか、茶摘み体験を通して確かめる。茶摘み体験施設で、茶娘の衣装を着て体験した。



#### 【児童の感想】

- ・茶畑でお茶をとっている人は、こんなに大変なんだなと思いました。今度はもっといっぱいとりたいたいです。楽しかったです。
- ・とてもきれいな緑で、見ただけでおいしいと思えるほどでした。
- ・お茶の葉を天ぷらにして食べてみたいです。
- ・来年は家族で茶摘み体験をやってみみたいです。

茶畑は知っているが、茶摘みはなかなか体験できないので、貴重な体験となった。持ち帰ったお茶の葉を、各家庭で天ぷらなどにして味わうことができた。地域の茶畑で体験できるよう、今後検討していく。

## ●取組一東 3

### 【茶道体験】(4年生・総合的な学習の時間)

食文化  
社会性

ねらい：日本の文化である茶道を体験することにより、作法の意味を知り、食文化や歴史を知る。  
家庭・地域との連携：HPで紹介。地域の団体に講師を依頼。

地域の団体を茶道講師として招き、茶道の基本を学び、自分で抹茶を点てる茶道体験を行った。また、美しいお辞儀の仕方など、日常生活にも役立つ作法を学んだ。



#### 【児童の感想】

- お茶をたてるのは思っていた以上に難しかったです。またやってみたいです。
- 道具の名前やお茶のたて方、お座敷にあがる時のマナーがわかりました。
- 抹茶は苦かったけど、おいしいお菓子があったので大丈夫でした。
- 最後にズッと音をたてて飲むことにびっくりしました。

ただ抹茶を飲むだけでなく、作法についても教えていただき、日常生活にも役立つ体験となった。今年度は、感染症対策のため、講師に点ててもらうのではなく、自分で自分の抹茶を点てることにしたが、全員が体験できとてもよかった。

## ●取組一東 4

### 【おいしいお茶を淹れよう】(5年生・家庭科)

食事の重要性  
食文化

ねらい：お湯の沸かし方を学習した子供たちが、自分で沸かしたお湯でお茶を淹れる活動を通して、おいしいお茶を淹れるポイントを知る。  
家庭・地域との連携：家庭での実践。HPで紹介。

お湯の温度や待ち時間等、おいしいお茶の淹れ方のポイントについて栄養教諭が説明した後、実習を行った。お湯を沸かして、急須を使って2種類のお茶を淹れ、飲み比べをした。



#### 【児童の感想】

- お茶は苦いと思っていたけど、一口飲んだら「おいしい！」と思ったので、また飲みたいと思いました。
- 温度をかえるために工夫していることがわかりました。
- 同じお茶でも種類の違いで、味が違いました。それぞれのおいしさがありました。
- やり方を覚えました。家でも挑戦します。
- おいしくいれられてよかったです。



2種類のお茶（普通煎茶、深蒸し茶）の違いや、湯温、待ち時間などのポイントについて理解することができた。自分で、家でもやってみようという気持ちを持ったので、家庭での実践につなげられるよう、今後も継続していきたい。

## ●取組一東 5

### 【静岡茶講座】(6年生・総合的な学習の時間)

食文化  
社会性

ねらい：静岡茶について学ぶことで、静岡茶の愛飲の習慣化を図り、児童の健康の維持・増進、郷土への理解を深める。お茶に関わる仕事について学ぶ。  
家庭・地域との連携：HPで紹介。家庭での実践。

日本茶インストラクターを講師に招き、お茶についての知識やおいしい淹れ方を教えていただき、淹れ方の実践を行った。また、キャリア教育の一環として、お茶の仕事についての講話を聞いた。



#### 【児童の感想】

- 実際にお茶をいれて飲むのが楽しかったです。お湯の温度で味が違うのがおもしろかったです。
- 家の人に私がいれたお茶を飲んでもらおうと思いました。
- お茶作りの苦労や楽しさを教えてもらい参考になりました。
- ほかにどんなお茶があるんだろうと気になりました。静岡県民として、お茶についていろいろ知りたいです。

お茶を淹れる体験活動を通して、お湯の温度でお茶の味が変わることを実感することができた。お茶に興味を持ち、家でも淹れてみた児童も見られた。各班にインストラクターがついて指導してくれたので、淹れ方がわかりやすかった。

## ●取組一東 6

### 【お茶工場見学】(家庭教育学級)

食文化  
感謝の心

ねらい：製茶工場を見学することで、普段飲んでいるお茶がどのように加工されて、家庭に届いているかを知る。

家庭・地域との連携：市内の製茶工場を見学。

市内の製茶工場へ行き、工場内の様子や機械を見学しながら、製造工程について学んだ。



#### 【参加した保護者の感想】

- 茶葉の蒸し時間が30秒と短いのに驚きました。
- こんなに繊細な緑茶が、大きないくつもの機械を通して作られていることに驚きました。
- その時の茶葉に適した湿度、温度、時間を決める、熟練の技に感動しました。
- こんな機会がなければ見ることができなかったので貴重な体験でした。

大きな機械を見たり、どのように加工されているのか説明を聞いたりして、緑茶ができるまでについて知り、お茶について関心を高めることができた。今回は機械が動いているところが見られなかったのが残念だったが、機械が作動する新茶の時期は繁忙期のため見学することは難しい。



●取組一東 7

【お茶講座】(家庭教育学級)

食品を選択する  
能力

ねらい：様々な種類のお茶を試飲することで、お茶の種類や効能等についての理解を深める。  
家庭・地域との連携：家庭での実践。HPで紹介。

日本茶インストラクターを講師に招き、「TPOに応じたお茶の知恵」をテーマに、12種類の品種茶を試飲しながら、それぞれのお茶にあった淹れ方や特徴、効能などについて学んだ。



【参加した保護者の感想】

- たくさんのお茶を試飲させていただき、なかなかない経験ができました。
- 講師の先生が服薬していない（健康である）というお話を聞いて、私も健康寿命を延ばしたいと思いました。
- 杜仲茶がお茶の木じゃないことにびっくりしました。

多くの種類のお茶を試飲することで、様々なお茶の種類があることや、効能について理解を深めることができ、また、場面に応じたお茶の楽しみ方を知ることができた。参加者以外への啓発が課題である。

●取組一東 8

【お茶を食べ茶おう】(家庭教育学級)

食事の重要性  
食文化

ねらい：茶葉を使ったお菓子作りを通して、お茶を丸ごと楽しむ。  
家庭・地域との連携：レシピの配布。HPで紹介。

栄養教諭が講師となり、お茶を使ったプリンとバームクーヘン作りの実習を行った。できあがったお菓子は、家庭に持ち帰り、親子で味わった。



【参加した保護者の感想】

- バームクーヘンは楽しく作れそうなので、家で子供とチャレンジしたい。クルクル巻いていくのが楽しかったです。
- お茶の味がしっかり出ていておいしかったです。
- お菓子にしたので、お茶の苦みをあまり感じず、おいしく食べられました。
- ほうじ茶や紅茶でもプリンを作りたいと思います。

家庭にある材料で、手軽に簡単に作れるレシピとしたため家庭での実践につながった。栄養教諭が講師となることで、いつでも実施することができる。おたよりでレシピをお知らせするなど、参加者以外にも広めていく工夫が必要である。